

小児手術・集中治療部

1. スタッフ（平成26年4月1日現在）

部長（兼・教授）	竹内 護
小児集中治療部長（准教授）	多賀 直行
病棟医長（病院助教）	大塚 洋司
医員（学内准教授）	門崎 衛
（講師）	片岡 功一
病院助教	大塚 洋司
	永野 達也
	青木 智史
	中村 文人
	岩井 英隆
シニアレジデント	2名

2. 小児手術・集中治療部の特徴

小児手術・集中治療部は、2006年9月とちぎ子ども医療センターの開院とともに開設され、手術部門と小児集中治療部門の両面を持つ中央診療部門である。

手術部門は、清浄度クラス1000の手術室とクラス10000の手術室各1室の計2室で構成され、現在、小児・先天性心臓血管外科、小児外科、小児泌尿器科および小児整形外科の手術が行われている。

小児集中治療部門は、とちぎ子ども医療センター内外の重症患者を収容し、関連診療科と連携して集中治療およびその看護を行い、回復を図ることを目的としている。小児集中治療室（PICU）は、感染症対応可能な個室ベッド2床を含む8床のユニットとして運用されている。本PICUの特色として、先天性心疾患の外科的治療を周術期管理の面から全面的に支援していることである。麻酔・集中治療医と小児・先天性心臓血管外科医、小児循環器医が密接に連携して、新生児から年長児まで幅広い年齢層の先天性心疾患患者の診療、周術期管理にあたっている。

また、先天性心疾患以外の外科的疾患患者の周術期管理や、内科的疾患を持つ重症患者の集中治療も、本館集中治療部および関連各専門科と密接に連携を取り、限られた病床数の中で効率よく安全に診療を提供できるように鋭意努力している。

・認定施設

- 日本麻酔科学会認定病院
- 心臓血管麻酔専門医認定施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設

・専門医等

- （社）日本麻酔科学会指導医 竹内 護

	多賀 直行
	門崎 衛
	大塚 洋司
	永野 達也
	青木 智史
	岩井 英隆
	他2名
厚生労働省麻酔科標榜医	竹内 護
	多賀 直行
	門崎 衛
	他7名
日本心臓血管麻酔学会専門医 同（暫定）	多賀 直行
	竹内 護
	門崎 衛
日本集中治療医学会専門医	竹内 護
	多賀 直行
	大塚 洋司
日本救急医学会専門医	永野 達也
日本小児科学会専門医	片岡 功一
	青木 智史
	中村 文人
日本小児循環器学会指導医	片岡 功一
日本周術期経食道心エコー認定医	多賀 直行
	大塚 洋司
	岩井 英隆

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 手術・検査等全身麻酔数（2013/1/1-12/31）

小児・先天性心臓血管外科	142例
小児外科	411例
小児泌尿器科	201例
小児科検査等麻酔	32例
小児心臓カテーテル検査麻酔	65例
MRI検査麻酔	2例
合計	853例

2) PICU入室患者数（2013/1/1-12/31）

小児科	113例
小児・先天性心臓血管外科	87例
小児外科	43例
小児脳神経外科	14例
移植外科	9例
小児整形外科	0例
形成外科	11例

小児耳鼻咽喉科	3例
小児泌尿器科	3例
歯科口腔外科・他	4例
<hr/>	
合計	287例

3) 死亡症例

死亡症例 4例（死亡率1.4%）

4) 病床利用率など（2013/1/1－12/31）

病床利用率	89.3%
病床稼働率	99.2%
平均在院日数	9.0日

4. 事業計画・来年の目標等

手術部門では、カテーテル検査等の出張麻酔を含め、順調に全身麻酔数が増加している。本館中央手術部・麻酔科との連携を密にし、今後もより安全で効率の良い運用ができるように最大限努力していきたい。

PICU部門では、昨年と比して入室患者数が減少したが、より重症度の高い患者の入室数が増加する傾向にある。難易度が高く侵襲の大きい手術数も依然として多く、周術期管理とともに院内重症患者管理に貢献できるよう今後も努力を続け、患者の安全と良質な医療の提供に努めたい。

昨年度より重症度評価スコアリングシステムを稼働し、当PICUの客観的定量的治療成績の評価を開始した。今後他施設との比較などを通じて、治療レベルのさらなる向上に結びつけたい。また、小児での体外循環式血液浄化療法の導入準備を進めており、今後周術期患者の厳密な水分管理や多臓器不全など超重症患者に対する治療の一助としたい。今後も本館集中治療部と密接に連携をとり、高度な医療を安全に提供できるよう鋭意努力していきたい。

研究面では、PICUネットワークを通じた多施設臨床研究への参加および、小児先天性心疾患に対する麻酔法の影響を調査する臨床研究が進行中である。これらの研究を通じて、職員の専門性・能力の向上、部局全体のレベルアップにつなげるようにしたい。